

授業で聞いたな、 こんな言葉

令和2年12月5日(土)~令和3年2月21日(日)

今回の展示では、「授業で聞いたな、こんな言葉」をテーマとし、当館収蔵の郷土ぐんまに関する史料から小中学校の社会科の授業で誰もが聞いたことのある人物・事件・文化などに関する史料を取り上げています。

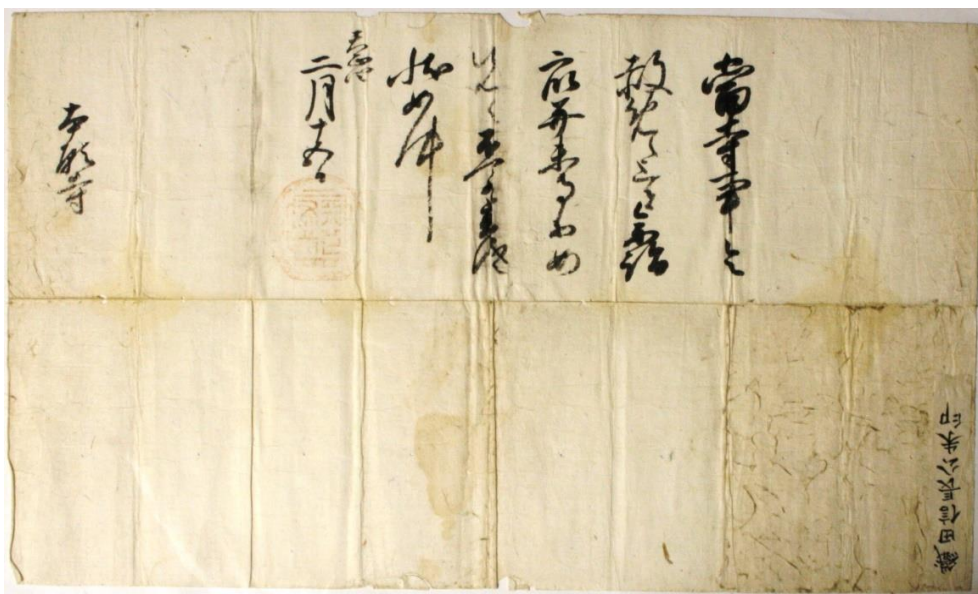
また、学校の先生には、当館の史料を教材として活用していただく契機とするために、展示史料は「小中学校社会科の授業で教材として活用できる」ことを中心に選定を行いました。

さらに、県立図書館・群馬大学中央図書館との連携展示として、両館が所蔵する「解体新書」や「関孝和」などに関する貴重な史料・図書をお借りすることで、充実した展示とすることができました。

今回の展示を通じて県民の皆様が少しでも再び歴史の面白さに触れていただければ幸いです。

群馬県立文書館

① 戦国時代



史料3

織田信長
(織田信長朱印状)

天正4年(1576)

信長から本願寺に宛てた文書です。本願寺のことを許したので、信者などが、信長に背かないように命じています。



④ 幕末と明治



糸ひく娘

糸ひく娘

(一) 星も出てる夜明けの空に
なびく工場の黒煙う
朝も早くからくるくると
娘揃ふて糸をひく。

(二) 娘揃ふて楽しい工場
あがる湯煙り釜の中
前は踊るよくるくると
廻る小枠のつやのよさ。

(三) 今日も娘は一日くれた
部屋へ歸れば針仕事
友へ母へとベン走らせて
わ物語りの面白さ。

(四) 可愛い娘は糸ひき聲り
娘聲りは二度と来ぬ
さあさひけく國産生糸
ひけよ！身の爲め國の爲め。

糸ひく娘 松村 鶴人 作詞



史料21
繭と生糸は日本一
(製糸工場・産業歌
「糸ひく娘」)
昭和7年(1932)

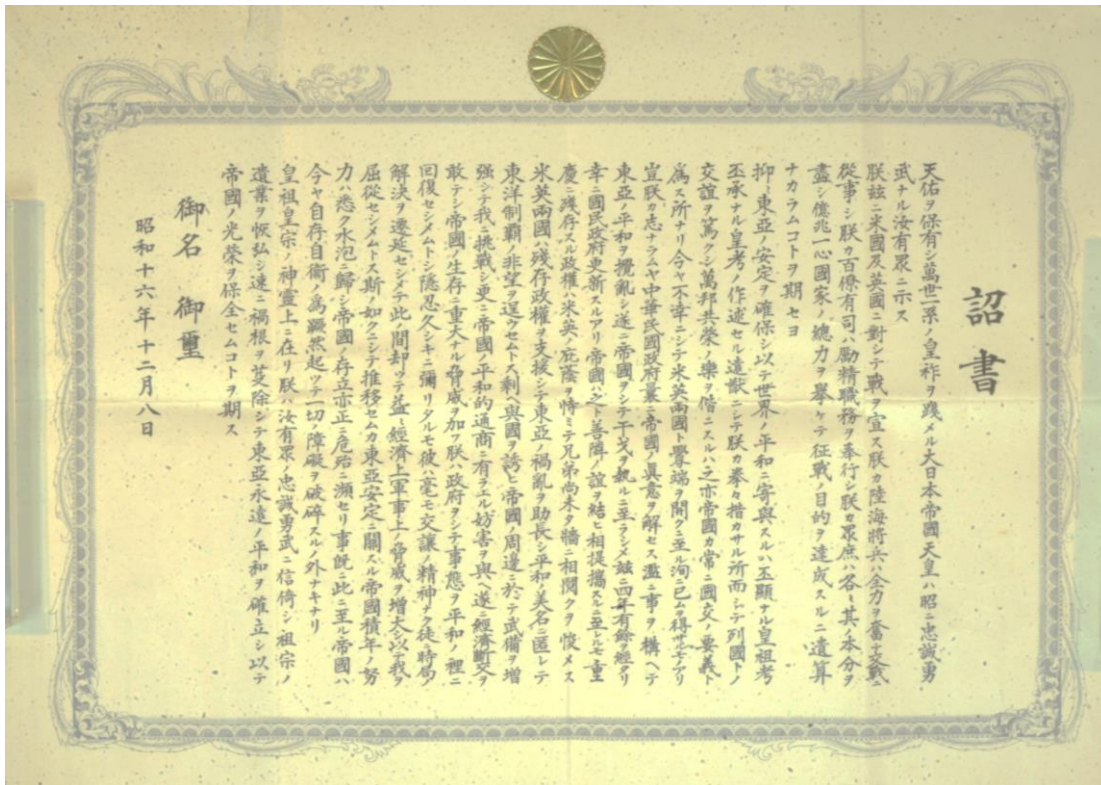
幕末・明治維新以降、わが国の経済発展を支えたのは製糸業でした。この史料は、製糸工場で主な働き手となった女性たちの様子を絵と歌でいきいきと表現しています。

史料26

米英両国に宣戦の詔書
(米国及英国に対し宣戦の詔書)

昭和16年(1941)

⑤ 昭和



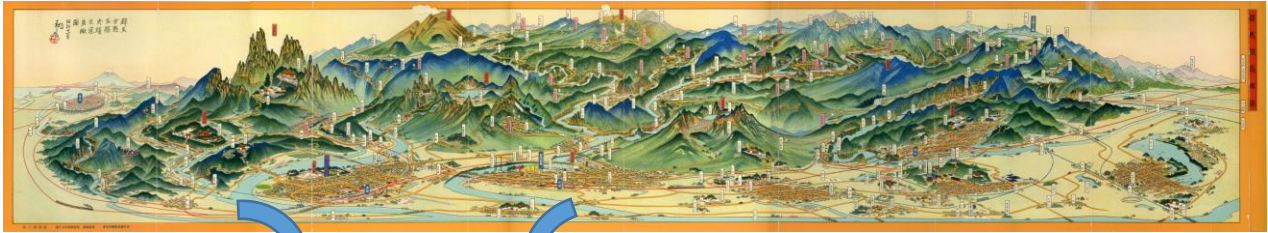
国家としての取り決めは、元首である天皇陛下が詔勅(しょうちよく)という形で発することになっていました。宣戦詔書(せんせんしょうしょ)には、日本がなぜ他国と戦争をしなければならないのか簡潔に書かれています。



⑥近代のぐんまの姿



この鳥瞰(ちょうかん)図は、群馬県勝地(しょうち)協会が作成した観光地案内パンフレットです。観光事業は県行政の重要施策であり、群馬県は古くから景勝地の保護・開発に取り組んでいました。



史料29

昭和初期の
観光パンフレット
(勝地群馬)

昭和11年(1936)

史料30

試験問題録(日本
史・地理・英語)

明治38年(1905)

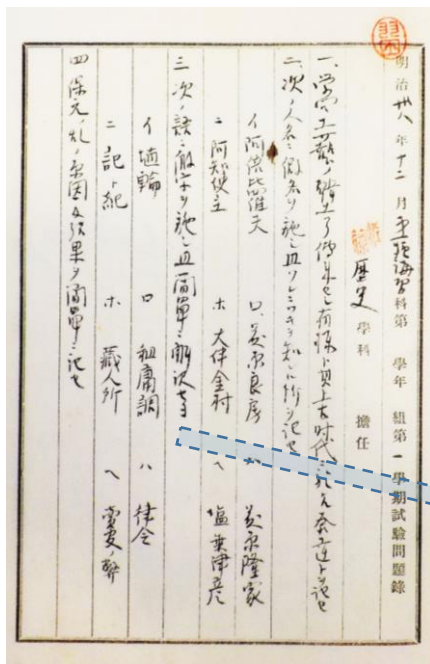
⑦チャレンジ! 明治時代の試験問題

群馬大学中央図書館所蔵の群馬県師範学校試験問題録を紹介いたします。明治38年度(1905年)の出題です。学校の先生を目指す学生(現在の高校3年生程度)がどんなことを学んでいたのかご覧ください。そして試験問題にぜひ挑戦してみてください。

三 次の語に仮名を施し さらに簡単に解釈せよ

イ 埴輪 ロ 租庸調 ハ 律令

ニ 記と紀 ホ 蔵人所 ヘ 売官の弊



群馬県立文書館

〒371-0801 前橋市文京町三丁目27-26 (二子山古墳の西隣)
TEL: 027 (221) 2346 ホームページは”群馬県立文書館”で検索